

2018年 年頭のごあいさつ



保健事業部 事業部長
福田 崇典

明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、清々しい新年をお迎え
のことと存じます。

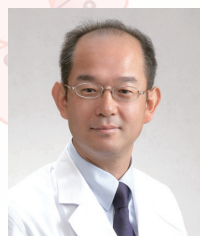
2017年は、利用者様のニーズに対応する目
的で、膵がんリスク検診を人間ドックのオプション
検査として開始いたしました。また、近年、少子高
齢化による労働人口の減少から、「健康経営」は
企業の大きな課題となっており、当事業部では、
「健康経営」についての普及・啓発活動の展開
にも力を入れました。

今後、健康・予防サービスに対する個人の嗜

好の高まりや多様化等が進み、これに合わせて、
「個別化健康サービス」の提供が必要とされま
す。2018年は保健事業の原点である1次予防
(健康づくり)、2次予防(重症化予防)に重きを
置き、問診情報、過去の検査結果から利用者様
に合わせた健診項目の提案に取り組みたいと考
えます。

今後も疾病の早期発見・早期治療に向け、た
ゆまぬ努力と研鑽を続けて参ります。

どうぞ、これまで同様のご指導、ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し上げます。



聖隷健康診断センター
所長 武藤 繁貴

明けましておめでとうございます。
昨年も多くの皆様にご利用い
ただきありがとうございました。

昨年は、新たに膵がんリスク検
診を始めました。この検査では、腹
部MRI、腫瘍マーカー、膵がん
に特化した腹部エコーおよび問診を
行い、膵がんのリスクを明らかにす
ること、切除可能な膵がんを発見
することを目指しています。

2018年度から第三期特定健診・特定保健指導が始ま
り、特定保健指導の運用が大幅に弾力化されます。弾力化
の最大の目的は特定保健指導の実施率を向上させること
にあります。この実施率は保険者の後期高齢者負担金の
加算・減算に大きく関わるため、第三期の最重要テーマに
なると思われます。本制度が円滑に行われるよう保険者や
事業者の皆様と協力して参りたいと考えております。



聖隷予防検診センター
所長 森 厚嘉

明けましておめでとうございます。
昨年も多くのお客様に参り
いただきありがとうございました。

昨年も非常に多くの利用者の皆
様に聖隷予防検診センターをお選
びいただきました。心から御礼申し
上げます。また、お褒めや励まし
のお言葉も多く頂き、新年を迎えるに
あたり改めて身の引き締まる思い
であります。昨年は、内視鏡検診、
婦人科検診機能の強化に加え、5階の食堂の全面改修を
行いました。これにより、今まで以上にくつろいだ雰囲気
の中、食事をお楽しみいただけるようになりました。新しく
なった食堂で、ホテルコンコルドより提供される人間ドック
のランチをぜひ、ご体験ください。本年も、利用者の皆さま
に快適に安心して検診をご受診いただけるよう、職員一同
努める所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



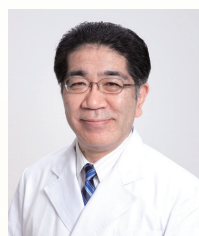
聖隷健康サポートセンター
Shizuoka
所長 鈴木 美香

明けましておめでとうございます。
昨年も多くのお客様にご利用
いただき感謝申し上げます。

昨年は、健康診断や特定保健
指導の受診率向上のため、休日
を利用した被扶養者向けのファミ
リー健診や、保健師が事業所にうか
う形での特定保健指導などに積極
的に取り組んでまいりました。本年
も、4月から実施される第3期特定健康診査等実施計画に
向け、体制を整え、特定保健指導実施率の向上に努めて
まいります。

また、健診後の精密検査・フォローアップにも力を注ぎ、
年間を通して皆様の健康管理に尽力いたします。

本年も、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



地域・企業健診センター
所長 鳥羽山 滋生

明けましておめでとうございます。
昨年も多くのお客様に参り
いただきありがとうございました。

最近、働き方改革や過重労働問
題など世間の耳目を集める中、国
民の健康を守るがん検診を含め健
診が、益々重要性を増してきてお
ります。昨年から、巡回健診では受診
率の低い子宮がん検診や協会健
保に属する本人とその家族に対
して、受診をしやすいように、ホテルやショッピングセンター
を利用した会場設定の工夫や、土日を利用したファミリー健
診を増やして参りました。今年は、一昨年から義務化された
ストレスチェックの中で、個人結果だけでなく集団分析を進
め、各事業所の健康経営に寄与できる様、産業保健活動も
充実させていく所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し
上げます。

グループ通信

保健事業部通信 ①

11/11(土)『肺の健康を考える日』開催!

営業契約室 営業契約課 増田 幸子

聖 隷健康サポートセンター Shizuokaでは、毎年
「世界COPD※デー」にあわせて『肺の健康を考
える日』を開催し、今年で5回目となりました。

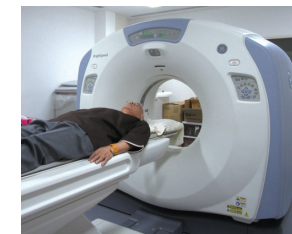
副 所長の影山医師による特別公開講座は、毎年
継続して参加される方もいらっしゃいます。「肺
がんCT検診の重要性がわかり良かった」「肺について
新たな知識を学べた」「禁煙しようと思う」等の前向き
なご意見が多く、大変好評でした。講座後は、スモーカー
ライザー(呼気中一酸化炭素濃度測定器、喫煙/禁煙
の評価ができる)の体験をしていただきました。

「肺 の健康に関心を持っていただくきっかけに
なしてほしい」という想いを込めて、肺がんCT
検診(低線量胸部CT検査)や肺機能検査を、当日に限
り割引受診料でご提供しております。

これからも地域の皆様の健康増進につながるよう
啓発活動に努めてまいります。



▲影山医師による特別公開講座



▲低線量胸部CT検査



▲スモーカーライザー体験の様子

※COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは…

肺に慢性的な炎症が起き、空気の流れが悪くなる疾患。進
行すると呼吸不全となり、慢性的な咳やたん、体を動かした
時の息切れ等が生じる。

保健事業部通信 ②

事務長就任のご挨拶



聖隷健康診断センター
事務長 岡野 淳

10月より聖隷健康診断セン
ターの事務長となりました岡野
でございます。日頃より、格別
のご厚情を賜り、誠にありがとう
ございます。

当センターは、高機能な医療
設備を駆使した健康診断を住民
の皆様、企業の皆様へ提供でき

るよう、取り組んでおります。

事業部理念のもと、安心して気持ちよく受診いた
だき「健康の実現」を実感いただけるよう、職員と共に全
力で支援いたします。今後ともご指導の程、よろしくお
願いいたします。



聖隷予防検診センター
事務長 池田 孝行

10月より聖隷予防検診セン
ターの事務長となりました池田
でございます。

当センターのコンセプト「心休
まる癒しの場所(オアシス)」のと
おり、利用される方々はもちろ
んのこと、スタッフにも笑顔があ
ふれる「オアシス」になるよう施設

運営を行う所存です。

前任地の聖隷佐倉市民病院のときから「現場を知
る、現場から学ぶ」をモットーにしており、地に足をつけ
ながらも新たな取り組みも積極的に取入れていきます。

今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。